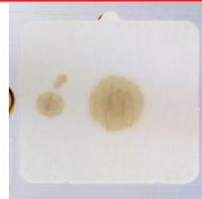


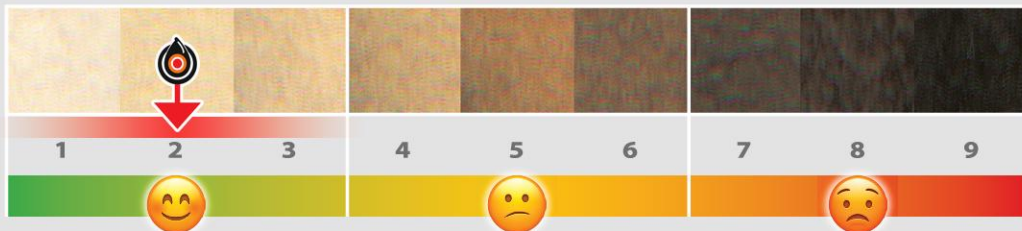
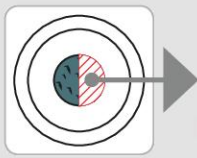
## テスト結果：ガソリンエンジン

試験日	2024/07/19 2:30:00	車種	ライフ
ナンバープレート	ホンダライフ6240	パフォーマンス	38 KW
ブランド	ホンダ	走行距離	48,659 km
建設年	2011	オイル交換後の走行距離	5,459 km



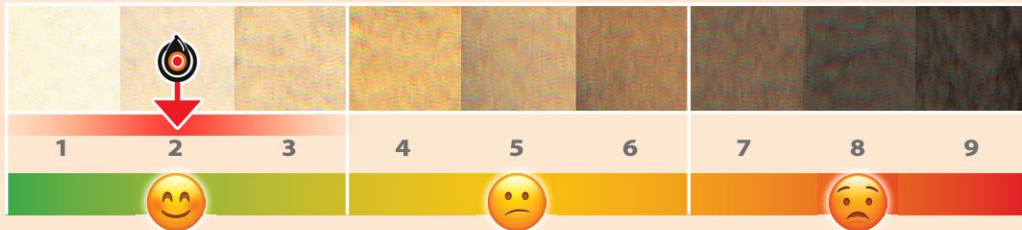
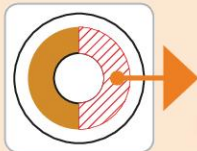
### すす

この表は、堆積物／粉塵、摩耗粒子、カーボン、その他の汚染物質の存在を示しています。



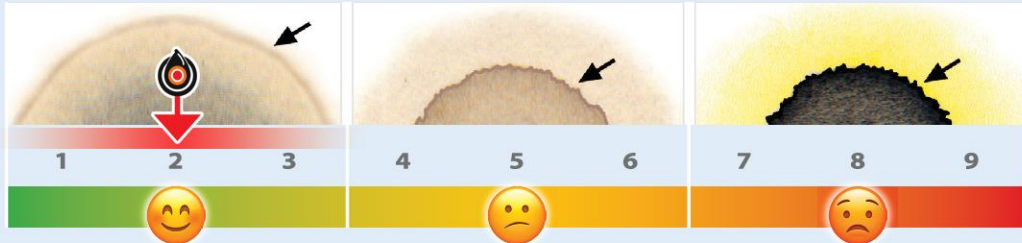
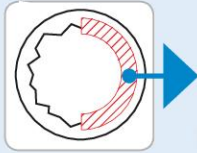
### コンディション

この結果は次のことを示しています：オイルはまだ大丈夫ですか？



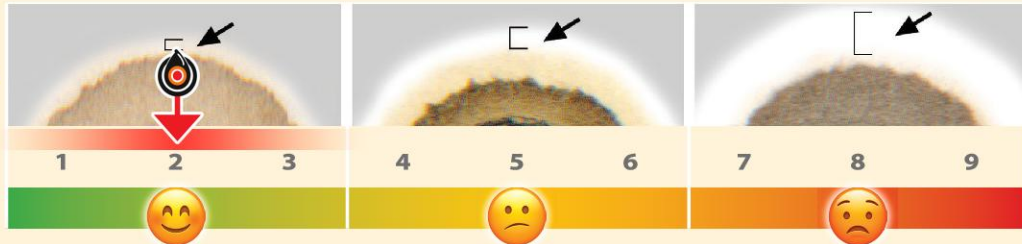
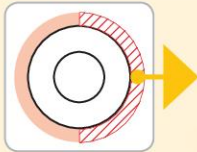
### 水

エンジンオイルに水（凝縮水または冷却水）が含まれている場合、縁に固形物が付着します。



### 燃料

オイルに燃料が含まれている場合、外縁に薄く透明なリングが形成されず。幅の大きさは、燃料の量を示します。



## テスト結果、推奨事項

オイル使用走行距離に対し燃焼状態とオイルの状態が極めて良好であるため、テスト結果はエンジンがかなり新しいか、よく、この診断については2ページで詳しく説明している。

**重要なお知らせ：**MOTORcheckUPクイックテストでは、すべてのオイルや状態をカバーすることはできません。クロマトグラフ法によるエンジンや骨材の検査では、市販されているオイルの組成を考慮します。MOTORcheckUPは以下のことを保証するものではありません。MOTORcheckUPは、エンジンまたは骨材の技術的機能性および機械的状态を保証するものではありません。この試験は、エンジンと骨材の状態を示すものです。これにより、機能性または安全性に関する結論を導き出すことができます。MOTORcheckUPまたは販売元に対するいかなる賠償請求も排除されます。

**アドバイス：**詳細な分析が必要な場合は、お住まいの地域の認定ラボにご連絡ください。

## すす、コンディション、水、燃料のテスト結果から導き出す原因と影響

**重要：**検査結果を正しく解釈するためには、オイル交換の間隔を考慮する必要があります。オイルの走行距離が長ければ長いほど、すすとオイルの状態に関する結果は高くなります。水分や燃料の含有量も、走行距離に応じて増加する可能性があります。例 走行距離20,000kmのオイルの状態が4~6目盛（矢印参照）に位置するのは正常です。走行距離10,000kmのオイルの状態が4~6目盛（矢印参照）に位置するのは異常です。このため、評価は常に走行距離に対する相対評価となります。

つまり、特に悪い結果（7-9）の原因は何なのか、どのような影響があるのかを比較します！

**すす**

この表は、堆積物／粉塵、摩耗粒子、カーボン、その他の汚染物質の存在を示しています。

<p>1 2 3</p> <p style="text-align: center;">😊</p> <p>ごくわずかな堆積物、カーボン、粉塵が存在します。</p>	<p>4 5 6</p> <p style="text-align: center;">😞</p> <p>堆積物、カーボン、粉塵のレベルが上昇しています。</p>	<p>7 8 9</p> <p style="text-align: center;">😡</p> <p><b>原因：</b>不完全燃焼、キャブレターの調整不良、運転習慣の乱れ、燃料噴射の不具合、フルフローフィルターの詰まり、排気装置またはターボの不具合、不適切な燃料グレード <b>結果：</b>ピストンリング溝への汚れの堆積バルブやピストンに付着した汚れは、熱交換に影響を及ぼします。</p>
---	---	--

**コンディション**

走行距離に対してオイルはまだ大丈夫ですか？

<p>1 2 3</p> <p style="text-align: center;">😊</p> <p>テストされたエンジンオイルは、まだ良好な状態です。</p>	<p>4 5 6</p> <p style="text-align: center;">😞</p> <p>明らかな摩耗の兆候があります。オイルの走行距離を考慮してください。低走行距離と過度の磨耗は、根本的な技術的欠陥の兆候です。</p>	<p>7 8 9</p> <p style="text-align: center;">😡</p> <p><b>原因：</b>オイル交換間隔の超過、断続的なオーバーヒート、不適切なオイル等級、燃料中の高硫黄分 <b>結果：</b>すべての構成部品に異常摩耗と損傷、燃料消費量の増加、エンジン性能の低下</p> <p style="text-align: right;"><b>早急なオイル交換をお勧めします。</b></p>
--	--	--

**水**

エンジンオイルに水分（凝縮水または冷却水）が含まれている場合、縁に固形物が生じます。

<p>1 2 3</p> <p style="text-align: center;">😊</p> <p>オイルに水分が含まれていない、もしくはほとんど含まれていない。</p>	<p>4 5 6</p> <p style="text-align: center;">😞</p> <p>中程度の水分が存在します。500~1,000km走行内にテストを繰り返すことをお勧めします。</p>	<p>7 8 9</p> <p style="text-align: center;">😡</p> <p><b>水分過多！</b></p> <p><b>原因：</b>ガスケット不良、オイルクーラーガスケット不良、シリンダーヘッドガスケット不良、冷却システムの漏れ <b>結果：</b>結露水または冷却水としての水が、以下の欠陥の1つまたは複数が原因でエンジンに到達します：ガスケットの損傷、冷却水回路の漏れ、シリンダーヘッドガスケットの損傷、オイルクーラーの腐食 高価なエンジン修理の可能性が高いです。</p>
--	---	---

**燃料**

オイルに燃料が含まれている場合、外縁に薄く透明なリングが形成されます。幅の大きさは、存在する燃料の量を示します。

<p>1 2 3</p> <p style="text-align: center;">😊</p> <p>燃料は存在しないか、あってもごく少量です。</p>	<p>4 5 6</p> <p style="text-align: center;">😞</p> <p>燃料が存在するので、原因を調べる必要があります。オイル中の燃料含有量が増加すると、オイルが希釈され、潤滑特性が低下します。</p>	<p>7 8 9</p> <p style="text-align: center;">😡</p> <p><b>リングやピストンの摩耗により、未燃焼の燃料がエンジンに混入しています。</b></p> <p><b>原因：</b>点火時期の誤り、エンジンが冷えている状態での高速走行、キャブレターのセッティングの誤り、バルブセッティングの誤り、噴射ノズルの欠陥 <b>結果：</b>燃料消費量の増加、エンジンオイル、ピストン、シリンダー、ボールベアリングの摩耗の増加</p>
--	--	---

2